

KIKAIYA

TOOLS PRO SHOP KIKAIYA

オイルドレン

上抜き/下抜き兼用

取扱説明書

【品番】 OD-68P

この度は、KIKAIYA「オイルドレン上抜き/下抜き兼用」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * この取扱説明書は、商品の正しい使い方、使用上の注意について記載しております。
- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しくお使いください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください。

■注意事項

- ・タンクの最大容量を守り、それ以上の廃油をタンクに注入しないでください。
- ・オイルが冷えた状態で本機を使用してください。
- ・廃油排出速度は油温によって変化します。(オイル適温:40~60°C)
- ・本機を軟弱地、傾斜面では使用しないでください。使用時、及び保管時は必ず自在車輪を固定してください。
- ・本機に化学薬品、海水、水分等を付着させないように使用してください。
- ・本機の清掃は、中性洗剤を使用し、シンナー等の可燃性物質、化学薬品は使用しないでください。
- ・フィルターは使用毎に清掃してください。
- ・本機は自動車のオイル(廃油)専用です。その他の用途以外では使用しないでください。
- ・可燃性の強いもの(ガソリン、シンナー、ベンジン等)腐食性の強いもの(ブレーキ液、LLC、薬品、水等)を入れないでください。
- ・使用後は全てのバルブが締まっている事を確認し、コンプレッサーの配管をプラグから外してください。
- ・廃油受け皿に物を置かないでください。
- ・タンクを加熱しないでください。熱源の近くで使用しないでください。
- ・廃油をレベルゲージを確認し、透明タンクのSTOPラインより多くタンクに入れないでください。
また、下タンクはタンク横のレベルゲージを確認し、満タンになる前に排出するようにしてください。
- ・タンク内を加圧した状態で放置しないでください。
- ・ホースバンド等のネジの締結を、定期的に確認してください。
- ・本機の分解、修理、改造はしないでください。
- ・安全の為、保護具(保護めがね、作業用手袋等)を着用し作業に適した服装で作業してください。
- ・移動の際はハンドルを持ってゆっくりと移動してください。
- ・高さ調整時は、廃油受け皿を確実に保持している事を確認してください。

■組立て方法

【透明タンク】

| | |
|---|--|
| 1 | <p>メーターにテープを巻いて取付ける (エアーが漏れないようにメーターの向きを調整してください)</p>  |
| 2 | <p>吸い込み ホースにテープを巻いて取付ける(しっかり締める)</p>  |

【下タンク】

| | |
|---|--|
| 1 | <p>固定タイヤを取付ける (割りピンのみ)</p>  |
| 2 | <p>自在タイヤを取付ける</p>  <p>【取付順番】 (袋ボルト) ↑ (平ワッシャー) ↑ (本体) ↑ (キャスター)</p> |

【組立て】

1 透明タンクと下タンクを取付ける(しっかり締める)



1

2 上皿を取付ける(内側を手で押さえながらプラハンマーで叩き込む)

※叩きすぎるとわれる恐れがありますので注意してください



2

3 小物入れ・プローブ入れを取付ける



3



下抜き用受け皿の排出(延長)パイプは本体の下タンク内に収納されております。

組立ての際に引出してご利用ください。

また、寒い季節などは固くなっている場合もございます。

その場合は少し力を入れて引き出してください。



排出のパイプは本体の
タンク内に収納されております
組み立ての際は引き出してご利用下さい



■使用方法

＜オイル上抜き要領＞ バルブは全閉状態にしてください



1. 透明オイルタンク下のバルブを必ず閉じてください。

※右画像が閉じた状態です



2. 適切なオイル抜き取りチューブをプローブに取付けます。
プローブのバルブ(左画像赤丸の場所)は閉じてください。
3. オイルレベルパイプにチューブを挿入します。
エンジンのドレンタンク底まで届く様にセットしてください。



4. 透明タンク上部のエアーカプラにエアーを接続します。
エアーが流れバキュームゲージの針が動きます。
5. プローブのバルブを開いてエンジンオイルを吸い込んでください。
6. 吸い込み後はバルブを閉じてください。

「メモ」 吸い込みオイル量が少なくなってきたら必要に応じて(4)の作業を繰り返します。

透明オイルタンクに溜まった廃油は量と汚れを確認したら透明オイルタンク下のバルブを開いてオイルをドレンタンクに落とします。

「注意」オイル抜き取り時に透明オイルタンク内で飛び散ったオイルがサイレンサーよりにじみ出て周囲に飛び散る可能性がありますのでサイレンサーにウエスなどを巻いてオイルが飛び散らない様にしてください。

＜オイル下抜き要領＞

- ① 全てのバルブを閉じます。
- ② オイル受け皿を持ち上げ、スライドパイプ流入バルブを開けます。
- ③ リフトアップされた車両下よりオイルを受け下タンクへ廃油をおとします。
- ④ 使用後は流入バルブを閉じます。

 下タンク横にあるレベルゲージを確認し、一杯になる前に廃油を排出してください。

■ 廃油排出方法 (ドレンタンクに溜まった廃油を排出します)

(注意) バルブを全開にするとオイルが勢いよく出て飛び散る場合がありますのでご注意ください。



1. 透明オイルタンク下のバルブ／下抜き用スライドパイプ用バルブ／下タンクエアー接続口バルブ／プローブバルブの全てのバルブを閉じてください。

※5ヶ所の全てのバルブを必ず閉じてください。

※上記写真が閉じた状態です。



2. 廃油を移すタンクに廃油排出プローブをセットします。



3. タンク下部の廃油排出バルブを開きます。



4. 下タンクにエアーを接続してバルブを少しだけ開きます。タンクにエアーが入り廃油がホースより排出されます。排出される勢いと量を確認しながらエアーバルブを調整してください。

■仕様

| | |
|-----------|---|
| 品番 | OD-68P |
| タンク容量 | 透明タンク 10L 下タンク 68L |
| 使用エア圧力 | 0.58~0.78Mpa (6~8kgf/cm ²) |
| 抜き取りオイル適温 | 40~60°C |
| 付属チューブ | ・吸い込みナイロンチューブ(長さ730mm) :外径5mm×1本 :外径6mm×2本 :外径8mm×1本 ・吸い込みステンレスパイプ(長さ680mm) :外径6mm×1本 :外径8mm×1本 |
| ホース長さ | 吸込みホース:約1.4m 排出ホース :約1.4m |
| キャスター | 自在車輪(2個)φ75×21mm 固定車輪(2個)φ120×31mm |





タンクの表示は目安となります。
(実際のオイル量とは異なります)